

創 造 装 置

第五世代コンピュータの研究が進められていると聞く。創造する機械を創造できれば、ヒトの限られた時間内に解明できそうななかった生命の仕組みを、より詳しく解き明かすことになるかも知れない。コンピュータ・グラフィックスで映し出される奇妙にねじれた酵素蛋白は、あたかも目前に真実の生命を据えて縦横斜めから自由自在に眺めているかのような感覚を起こさせる。確かにそれは生命体の一部であるには違いないが、周辺機構のなかにどのように納まっていて、それら周辺機構の変化に応じて形態や機能がどう変化するのか。動的、総合的な仕組みを知らなければ、個体としての生命体を知ったことにはならない。例えば、イネとヒエとの生化学的な反応の違いは、酵素レベルや細胞レベルで知られていることが多いと思うが、その植物としての生命現象を支えている無数の酵素がそれを取りまく様々な組織とともに、どのように配置されているのか。苦心のアイデア化合物をその系に投入するとき、コリントゲームの玉のように虚しく右へ左へとはいじかれて、系外に送り出されてしまう。農薬の開発にかかわっていると、ヒトの知り得る範囲が如何に浅いかを数きたくなる。

創造装置が、将来どのような映像を映し出すにしても、所詮、創造装置を開発したヒトの頭脳の及ぶ範囲でしかない。学門のヒトがところどころで深く深く穴を掘り、企業のヒトがその周辺で鎌を振りたて草をなぎ払う。この図式が当分続くのではなからうか。

(財団法人 日本植物調節剤研究協会理事 松下広晴)
クミアイ化学工業株式会社 常務取締役

目 次 (第20巻第7号)

ヨモギ属の生態と防除…………… 2

＜宇都宮大学教授 竹松哲夫＞

1. ヨモギ属の分布とその進化…………… 2

2. ヨモギ属の語源…………… 3

3. ヨモギ属と人間との関係…………… 3

4. ヨモギ属の性状…………… 5

5. ヨモギ属の分類…………… 6

6. ヨモギ属の農耕地雑草…………… 6

7. 日本におけるヨモギとその生態…………… 8

埼玉県内桑園におけるパラコート抵抗性ハルジョオンの分布とその対策…………… 10

＜埼玉県蚕業試験場 埴岡靖男＞

1. 抵抗性ハルジョオン出現までの背景…………… 11

2. 抵抗性ハルジョオンの分布特性…………… 12

3. その他の抵抗性雑草…………… 14

4. 防 除 対 策…………… 14

世界の農耕地雑草とその調査研究(13)
——サクラソウ科——…………… 16

＜宇都宮大学 竹松哲夫・一前宣正＞
サクラソウ科概説…………… 15

昭和60年度秋冬作野菜花き関係除草剤・生育調節剤試験成績概要…………… 21

＜財団法人 日本植物調節剤研究協会＞

新除草・調節剤
・ジメピペレート・シメトリン・フ
エノチオール粒剤…………… 32